

陸前高田発

「お天王さま」神輿渡御

陸前高田市高田町の八坂神社の伝統行事で、「お天王さま」と呼ばれる神輿渡御が行われ、被災した旧市街地を練り歩きました。神輿は津波で流されましたが担ぎ棒は残り、社(やしろ)の部分再建して去年から行事は再開しています。町の中心部はかさ上げが進み、今のルートで神輿渡御が行われるのは最後となります。更地になった町には、30人あまりの担ぎ手の威勢のいい掛け声が響き、住民の健康や町の復興を願っていました。(7/16 ニュースエコー)



釜石発

「生コン工場」上棟式



「三陸沿岸道路」の早期完成を狙い、釜石市唐丹町に建設が進められていた「公共・生コンクリート工場」がほぼ完成しました。公共コンクリート工場は、復興工事で生コンクリートの需要が増えている被災地で、三陸沿岸道路の円滑な工事を進めようと国が建設したものです。この工場生産されるコンクリートは、釜石と大船渡を結ぶ「仮称・新釜台トンネル」の建設工事専用として使われます。

(7/17 ニュースエコー)

陸前高田発

「かつおのたたき」販売開始



陸前高田市で被災し再建した水産加工会社が、新ブランドを目指し「かつおのたたき」の販売を始めました。気仙町の水産加工会社「コマツ商店」は、震災前は鮮魚の卸しがメインでしたが、再建を機に『復興商品』として水産加工品の開発に乗り出しました。大船渡港などに水揚げされた脂が乗った半身のカツオを、遠赤外線であぶり、旨みを凝縮させ、パッケージにはオリジナルの専用タレがついています。陸前高田発の新たな「水産ブランド」として全国に向け出荷されます。(7/18 ニュースエコー)

田野畑発

「新観光船」完成

田野畑村の名勝・北山崎を巡る新しい観光船『SUNRIKUGO』が完成しました。村と第3セクター「陸中たのはた」が1億3000万円をかけて



導入したもので、震災後に山田町に誘致された造船工場「TFC」が建造しました。全長は21.86メートル。アルミ合金製で乗客・乗員あわせて95人乗りです。震災で田野畑村島越にあった観光船は壊滅的な被害を受け運航休止に追い込まれましたが、新観光船は被災地復興のシンボルとして観光客の誘致を目指します。運航は7月26日から始まり、1日4便が北山崎を中心とした三陸海岸を巡ります。(7/18 ニュースエコー)

大槌発

「大槌第1トンネル」工事開始



三陸沿岸道路の「仮称・大槌第1トンネル」工事が始まります。トンネルは釜石市と山田町を結ぶ全長23キロの釜石山田道路にあり、

長さは256メートルです。津波の浸水区域を回避する釜石山田道路には全部で10か所のトンネルが計画されています。釜石山田道路は救急搬送や新たな観光ルートとしての期待も寄せられています。(7/22 ニュースエコー)

大船渡発

さんりく元気ラジオ

(ワイドステーション内毎週水曜日放送)

今週は大船渡「FMねまらいん」の伊藤こずえさんが、7月26日に行われる「碇石海岸ラジオ de ウォーク」について伝えてくれました。夏の碇石海岸をラジオを聴きながら楽しく歩こうというもので、7キロコースと4キロコースがあります。伊藤さんも4キロをレポートしながら歩くことになっていて、ぜひたくさんの方に参加していただきたいと話していました。(7/23)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122